

平成23年度第1回町政モニター定期アンケート調査集計結果

＜平成23年8月実施＞

【調査テーマ】

「東日本大震災で気づいたことや考えたこと」について

3月11日発生した東日本大震災から5ヵ月が経過しました。震災後、大槌町や山田町など県内沿岸市町村の被災者（最大458名）の方々を町内のホテルや旅館で受け入れ、支援を行ってまいりましたが、8月3日で町内での滞在は終了しました。（縁故者宅等への避難者除き）

本町では幸い大きな被害はありませんでしたが、震災直後には、停電、電話の不通、物流の停止など町民の皆さまの暮らしにも大きな影響がありました。

また、観光客の激減による地域経済への影響や、電力不足、福島第1原子力発電所の事故による放射性物質の飛散による様々な方面への影響など、その影響はいまだに続いております。

今回のアンケート調査では、町政モニターの皆さんが「東日本大震災で気づいたことや考えたこと」などについて伺いますので、ご回答くださるようお願いいたします。

モニター数	27 人
回答数	26 人
回答率	96.3 %

問1 東日本大震災発生後の停電期間中、あなたは主にどこで生活しましたか？

(該当するもの一つに○印)	回答数	比率
1. 自宅	25	96.2%
2. 町が開設した避難所（各地区公民館4ヵ所）	0	0.0%
3. 集落の公民館に避難	0	0.0%
4. 親戚や知人宅	0	0.0%
5. その他	1	3.8%
計	26	100.0%

問2 震災の後の停電や物流停止などにより、あなたの生活で困ったものは何でしたか？

(最も困ったもの五つ以内で○印をつけてください)	回答数	比率
1. 食事の確保	5	19.2%
2. 飲料水など飲み物の確保	3	11.5%
3. 風呂	8	30.8%
4. 暖房	13	50.0%
5. 夜間の照明	20	76.9%
6. 交通手段の確保（燃料含む）	20	76.9%
7. 家族や知人等との連絡	19	73.1%
8. 震災被害の情報不足	10	38.5%
9. 医療や介護	0	0.0%
10. その他	0	0.0%
計	98	

問3 震災の後に、あなたの生活で変化したものがありますか？

(該当するもの全てに○印。なお、震災前から行っているものには△印)	回答数		比率	
	○	△	○	△
1. 節電を意識して取り組むようになった	20	4	76.9%	15.4%
2. 節水を意識して取り組むようになった	8	4	30.8%	15.4%
3. 車の利用を控えるようになった	8	0	30.8%	0.0%
4. 避難所や避難経路を確認した	4	4	15.4%	15.4%
5. 防災グッズや水・食糧などを準備した	10	3	38.5%	11.5%
6. 非常時の家族の連絡方法を確認した	5	1	19.2%	3.8%
7. 家具転倒防止などの対策をした	2	6	7.7%	23.1%
8. ニュースや報道番組をよく見るようになった	11	5	42.3%	19.2%
9. 近所の人たちと防災について話すようになった	8	1	30.8%	3.8%
10. その他	1	0	3.8%	0.0%
計	77	28		

問4 震災の後に、関心を持つようになったものがありますか？

(該当するもの全てに○印。なお、震災前から関心があったものには△印)	回答数		比率	
	○	△	○	△
1. 原子力発電などの国のエネルギー政策に関すること	23	1	88.5%	3.8%
2. 地震や土砂災害などの地域の防災に関するすること	9	5	34.6%	19.2%
3. 放射線量に関すること	15	0	57.7%	0.0%
4. 携帯電話やインターネットなどの通信網に関すること	6	2	23.1%	7.7%
5. 被災者や避難者への支援に関すること	13	2	50.0%	7.7%
6. 住宅の耐震化に関すること	5	6	19.2%	23.1%
7. 住宅の太陽光発電やヒートポンプなどに関すること	8	3	30.8%	11.5%
8. 防災訓練や地域の自主防災に関すること	5	8	19.2%	30.8%
9. その他	1	0	3.8%	0.0%
計	85	27		

問5 町では、毎年9月に総合防災訓練を開催していますが、今までに参加したり見学したりしたことがありますか？

(該当するもの一つに○印)	回答数	比率
1. 参加したことがある	15	57.7%
2. 参加したことはないが見学したことはある	3	11.5%
3. 行われていることは知っているが参加も見学もしたことはない	7	26.9%
4. 訓練が行われていることを知らない	1	3.8%
※3又は4の方は、ア～オのいずれかに○印を		
ア日時を知らない	1	20.0%
イ会場が遠い	0	0.0%
ウ時間が取れない	3	60.0%
エ興味がない	0	0.0%
オその他	1	20.0%
計	26	

問6 町では、地域の人たちによる自主防災組織の設立や活動支援を行っています。あなたがお住いの地域に自主防災組織があるかどうかご存知ですか？

(該当するもの一つに○印)	回答数	比率
1. 知っている	20	76.9%
2. 自主防災組織というものは知っているが自分の地域にあるかは知らない	4	15.4%
3. 自主防災組織というものは知らない	2	7.7%
計	26	100.0%

問7 今回の震災の後、地域とのつながりについての意識に変化がありましたか？

(該当するもの一つに○印)	回答数	比率
1. 近所や地域の人たちとこれまでよりも接する機会を増やしたい	7	26.9%
2. いざという時のために助け合える関係を築きたい	10	38.5%
3. 地域の様々な活動に参加するようにしたい	3	11.5%
4. 特に変化はない	6	23.1%
5. その他	0	0.0%
計	26	100.0%

問8 町内で自然災害が発生した際に、あなたが特に知りたい情報何ですか？

(知りたいと思うもの三つ以内で○印)	回答数	比率
1. 被害状況	21	80.8%
2. 家族や知人の安否情報	18	69.2%
3. 避難場所の状況	4	15.4%
4. 町の対応状況	7	26.9%
5. 道路や鉄道など交通網の状況	4	15.4%
6. 電気・水道などの状況	17	65.4%
7. その他	0	0.0%
計	71	

問9 自然災害発生時に、あなたにとって情報を得る手段として有効なものは何ですか？

(三つ以内で○印)	回答数	比率
1. テレビやラジオ	26	100.0%
2. 防災行政無線	16	61.5%
3. インターネット	3	11.5%
4. 携帯電話	12	46.2%
5. 広報紙	0	0.0%
6. 新聞	7	26.9%
7. 近所や知人	6	23.1%
8. その他		
計	70	

問10 町の防災対策や今回の震災対応について、ご提言などがありましたらご記入ください。

<p>町の防災対策について、町行政の担当者からの定期説明会があっても良いのではと思っています。（行政区単位は無理としても、例えば広く学校区単位の説明、懇談会とし、防災会・行政区一名以上の参加人数の限定でも） 地域防災会の指導的な方々の定期講習の意味合いも兼ね、防災、震災対応の気運が高まるものと思います。</p>
<p>今回の震災では個人的に炊き出しに参加しましたが、個人だから対応が速く出されたとは思いますが、ラジオで物資不足を聞いて、町でも対応しているのかどうか対応が遅くて職員（知り合い）に電話してきてみても判らないとのことでした。無線を使っていつ頃から物資の収集（必ずやって欲しい）をするのか予定だけでも放送して欲しいです。電気も電力会社の様子を聞いて通電できなければ「通電できない」ということを、無線放送してほしいです。農家では、ハウスで冬季も暖房で野菜や花を栽培しています、それなりの対応をしなければなりません。電話が通じなければ知ることができません。現にハウスのものをダメにした方もいます。3月だったから我が家もローソク（何万円もかかりましたが）で間に合いましたが、真冬だったらだめだったと思います。停電してもすぐつくものだと思ってましたから情報が欲しいです。</p>
<p>災害時の県内外の他市町村との相互協力関係がどの程度あるのか判らないが、普段からの交流があまりないのではないかと。 日頃の交流の積み重ねが非常時に効果を発揮すると思う。</p>
<p>町の防災対策の前に一人一人が災害に対しての意識付けが必要かと思っています。各自が出来ること、出来ないことを意識した上で町にお願いすること等、何でも町にという意識を変えていかなければならないのではと思っています。</p>
<p>今後も各種機関や団体を通して、防災対策（啓蒙・訓練）を年に数回継続して実施していくことが有事の際に役立つと思われます。 普段から防災への意識が薄くならないような仕掛けを望みます。</p>
<p>水道、電気の復旧に対する状況が知りたかったです。目処が立たないと言うことが不安をつのらせます。</p>
<p>今回の震災では、我が家では物の買い置きが多少あったため、それ程食料の不足等は大丈夫でした。暖房も薪ストーブだったため困りませんでした。 ただ、ガソリンの不足には情報が入って来ず、延々と続く車の列に並ぶことも出来ず秋田まで出かけました。今後はそのような状態の際販売の有無を無線などでして頂けると無駄足にならずに済むのですが。（混雑するのは分かっているのですけれど） 信号の停電で事故がありました。大きい道路だけでも交通整理が早めに必要でした。</p>
<p>災害内容別の具体的な対応マニュアル。</p>
<p>オール電化の我が家にとって停電が一番大変なことでした。そのためには自家発電が必要と思い購入しましたが、今現在原子力発電ですが目に見えない放射能汚染でどうなるのか？やはり自分たちで出来ることは各家庭で国の補助を受けながら太陽光発電を導入したらいかがかと思います。</p>
<p>防災無線がよく聞こえないために不安になるときが有ります。今回の震災では、夜中もラジオを聞いていました。（「雫石地区にも電話・電気が使えるようになった」とか） 9月4日の軽トラ市に来たご婦人が、震災の時雫石の方にとっても親切にしてもらい嬉しかったと言っていました。</p>
<p>電気、水、ガソリンなどライフラインに付いての情報が欲しかった。 携帯電話も充電できず使えなくなってしまったので、行政区毎に発電機の設備が有ればと思います。</p>
<p>自主防災組織が各集落で設立されており、大変良いことと思っています。 これから災害時における資材の整備が大事と考えます。 例えば、大規模停電等の対応として発電機が必要と思う。（今度の震災で感じました）</p>
<p>地域の自主防災組織の活動をより実効性のある物にしていく必要があると思います。</p>